

【情報通信審議会諮問】 2GHz帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方及び技術的条件

概要

- 衛星通信は、上空・海上・離島等での通信手段として、平時に加えて災害時において重要な役割。
- 東日本大震災等を受けた新たな衛星通信ニーズ等を踏まえ、2GHz帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方及び技術的条件について諮問。

背景

- 我が国では、1.5/1.6GHz帯、2.5/2.6GHz帯、12/14GHz帯等を用いた移動衛星通信サービスが提供。（海外では測位衛星サービス等も提供）
- 東日本大震災等を受けた新たな衛星通信ニーズ
⇒移動衛星業務に周波数分配のある2GHz帯について検討。
（必要に応じ他の周波数帯も検討）

スケジュール

- 平成25年 1月 情報通信審議会諮問（情報通信技術分科会衛星通信システム委員会で、国際調整の状況に留意しつつ検討）
- 平成25年内の可能な限り早期 一部答申（2GHz帯の利用方法等）
- 平成27年度目途 答申（2GHz帯の技術的条件等）

周波数帯	主な国内分配と端末例
1.5/1.6GHz帯 (L帯)	移動衛星  インマルサット イリジウム スラヤ
2GHz帯	移動衛星、移動
2.5/2.6GHz帯 (S帯)	移動衛星  N-STAR
12/14GHz帯 (Ku帯)	固定衛星、移動衛星  可搬型地球局 船上地球局 車載型地球局 ヘリサット